

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20年 2月27日
事業所名	前山ホームらく楽
事業所番号	2373500145
記入者名	職名 管理者 氏名 三浦 ルミ子
連絡先電話番号	0569-43-1466

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営 1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>・今は帰宅願望が強い方もみえるため、離設の恐れもあり常に門を開けないが、今までのように常時門を開き、地域の方がいつでもものぞいてくれるようにしたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>・介護保険導入時の民家改修型のため、利用者に合わせた改築・増築を次年度の計画実施予定としている。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		<p>・左記の制度に関わる利用者が出てきた場合のために、学習をもう少ししていかなければならない。</p> <p>・権利擁護に関する制度を学び、理解したい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修でも取り入れ、学習の機会を設けている。日常業務の中でも適宜虐待防止の意義について話し合っている。 ・事務所より委員会や勉強会もあり学習の機会は多々あった。 ・グループホームだけでなく、法人の中でも研修を行っている。 ・研修への参加により専門的な知識・技術を磨く。 ・入浴時の身体のチェック、職員の利用者に対する関わり方等、注意を払っている。 ・研修を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止関連法について、もう少し学習する機会をつくりたい。
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、担当ケアマネ、職員及び管理者、施設ケアマネで今後について十分な話し合いの時間をつくっている。 ・契約前は、面接、見学等を重ね、必要時短期入所も行いながら慎重に進めている。退所に至るまでの経過を十分に本人・家族に説明・納得した上でやっている。 ・しっかりと説明をしたうえでの契約、解約の押印をもらっている。 		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で、積極的に利用者の意見を聞き出す働きかけを行い、可能な限り運営に反映させている。 ・苦情窓口の張り紙を玄関先に設け、いつでも目につきやすいようにしている。 ・介護記録への記入を行い、職員会議又は申し送りにて話し合っている。 ・利用者からの意見、苦情等を個人の介護記録に書き、ミーティング等で話し合っている。 ・契約時や運営推進会議等でしっかりと投げかけている。 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族来訪時や月1回郵送している家族通信、運営推進会議、電話連絡において必要な事を都度報告している。 ・家族通信を発行(1ヶ月に1回)し、何かあった場合にはその都度家族へ報告している。 ・運営推進会議、定期的に家族通信を送付している。又、健康面に関しては受診等毎に家族へ報告している。 ・家族通信や電話等で連絡している。 ・月に1回の家族通信や臨機応変に対応し、必要があれば電話連絡等をしている。 ・月1度の家族通信にて近況報告している。 ・家族通信として月1回、健康状態は変化があればその都度連絡している。又、金銭管理等も月1回、来訪時に確認・承認を頂いている。 ・毎月「家族通信」を家族に送り、利用者の日々の生活を報告している。 	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応窓口の設置及び運営推進会議において、発言の場を設けている。 ・運営推進会議を行っている。 ・運営推進会議や面会等、いつでも話を聞ける状態である。 ・運営推進会議や面会等を通し、不満、苦情があれば言ってもらえる関係にある。 ・施設内に苦情窓口があり、いつでも相談にのれるようにしている。 	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話やミーティングにおいて話し合い、反映させている。 ・職員会議を行ったり面接を行い、職員の思いなど聞く機会を設けている。 ・月1回の職員会議にて話を聞いてくれる環境である。 ・月1回のミーティングを主に、随時話しを聞いてくれる。 	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に合わせた勤務状態にしている。 ・ボランティアの協力もあり、必要最低限ではあるが確保はできている。 ・ボランティアの方の協力により調整、確保はできている。 ・その日の流れを見越し対応可能な勤務状態になるよう努めている。 	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのダメージを防ぐ配慮は出来ているが、その分職員への負担が多い時がある。 ・日常会話やレクの際に、紹介や説明をすることで利用者への情報提供をしている。 	
5.人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修や外部研修等、多く学べる機会を作っている。又、OJTも勤めている。 ・施設内研修が全体会議時に組まれている。 ・施設外の研修の案内もその都度提示され、希望すれば受けられるようになっている。 	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会に入会・参加し、各委員会にも積極的に参加している。 ・相談委員会（南部地区）の意見交換会等へ参加し、交流をはかっている。 ・法人内の研修や交換研修等を行い、サービス向上を目指す取り組みをしている。 ・内覧会などを通じ交流の機会をみつける努力はあるが、なかなか現在には難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの場合は少人数で不規則な勤務のため、他事業所との交流も少ない。是非、地域との交流を持ちたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事以外に食事会等の機会を作り、又、希望者は法人内のストレスケアにも参加している。 ・面接を行い、職員の思いを聞きアドバイスをしてくれている。 ・ストレスケアを行ったりして、ストレスの軽減に取り組んでいる。 ・ストレスケアが定期的に設けられ、希望すれば受けられるようになっている。 ・ストレスケアを取り入れている。 	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時だけでなく、家族通信等で行事への参加も呼びかけ、相談事もしっかりと聞いている。 ・家族への声かけを家族通信や電話等でしており、ご家族の理解をおおげのようにしている。 ・職員が時に、家族と本人の仲立ちとなり、円滑な関係が持続できるようにしている。 ・手紙、電話等を通じ、誕生日やお盆等の面会、外出を促し、本人と家族との関係を保つ支援をしている。 ・日々変化する認知症症状について、家族と共に勉強し理解していくことができるよう働きかけ、利用者との関わり方についても話し合い、対応できるよう努めている。 	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族からの情報を大切にし、積極的な交流を支援している。 ・ご家族の協力のもと、ご本人の意志も尊重しつつ支援に努めている。 ・生活暦を把握し、日ごろから会話に馴染みの人や場所を盛り込むようにしている。 ・今まで大切にしてきたタンス、人形等馴染みの物は持ち込んでもらい、気分が良くなるよう努めている。 	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の間を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士が交流できる機会を作り、個人に合ったより良い関係作りに努めている。 ・利用者同士が仲良く関われる様努めているが、声かけしてもできない人もいる。 ・職員が仲立ちとなり、円滑な関係が築けるようにしている。又、部屋の配置等も配慮している。 ・レクリエーションに参加してもらい、交流を深めていただく。 ・他者とのコミュニケーション不足の方にもレクリエーションに参加してもらい、グループの輪に入ってもらっている。 	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族との関係を大切にし、必要な交流を継続している。 ・利用サービスがかわっても、ご本人ができるだけ継続的関わりを必要とされている場合、他利用者との交流を続けている。 ・利用終了後も、その後利用しているサービス機関等からの情報収集をしている。 ・契約が終了しても、行事の参加や来訪も快く受け入れている。 	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支 援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、 民生委員やボランティア、警 察、消防、文化・教育機関 等と協力しながら支援して いる</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、 地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話し合 い、他のサービスを利用す るための支援をしている</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの 協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、 権利擁護や総合的かつ長期 的なケアマネジメント等につ いて、地域包括支援センター と協働している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族がみえた際に美容院等の利用をどうするか伺い、本人の希望で日程を決めている。 ・本人の身だしなみをなるべく尊重し、理髪等も家族の方の協力を得て、自由に行ける体制をとっている。 ・入居時、今まで使っていた服や化粧品等持ち込んでもらい、使用して頂いている行きつけの美容院がある場合は、ご家族の協力を得ながら通ってもらっている。 ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望に沿った対応・支援を行っている。 	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ること、出来ないことを見極め、ケアプランに乗せた自立支援を実施している。 ・好きな食べ物を聞いたり、一緒に準備や食事、片付けをしている。 ・利用者の生活力を見極め、できることは積極的に参加して頂き、利用者の意見も取り入れながら作業している。 ・できることは自分でやるよう支援し、食事もどうしても嫌いな物があつたら代替も用意している。 ・その人が出来ることで食事の準備に携わってもらっている。 ・利用者に声をかけ一緒に準備、片付けをしている。 	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ること、出来ないことを見極め、ケアプランに乗せた自立支援を実施している。 ・コーヒーや紅茶を飲んでもらったり、ケーキやお饅頭などを出し楽しめるよう工夫している。 ・健康を脅かす嗜好品についてはなるべく避けるようにしている。 ・本人の状況に合わせて、最大限自己決定を大切にしている。 ・自己決定にて行っている。 ・利用者の好みの食事やおやつを作り楽しめるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコを楽しみたいと言われることをどのような方法で支援すればよいかミーティングでも検討しているが、家族からの反対もあり対応が難しい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・変化があればその都度ケース検討し、プラン変更しながら自立支援・対応をしている。 ・排泄パターンを把握し、本人の声、動きなどに気をつけトイレ誘導する。 ・排泄パターンを把握し、出来る限り自立できるよう支援している。 ・排泄による不快感（失禁等）を取り除けるよう努めている。 ・やむを得ない場合のオムツ使用を除き、なるべく普通の人と同じ下着等をつけてもらっている。 ・個人記録に排泄チェック表が設けられ、職員ができるだけ同じケアができるよう、又、ご本人に良い排泄ケアが何かを常に考えている。 ・排泄パターンを理解し、トイレ誘導している。 		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタル測定により健康状態を把握し、可能な限り本人の希望に沿ったケアを行っている。 ・利用者の状況等で、入浴する順番、湯温等調節している。 ・夏は汗をかくので毎日入浴をしてもらったりと臨機応変に行っている。 ・季節に応じての入浴を行っている。 ・日中の入浴に関しては、どうしても全員の希望に合わせることが難しいかもしれないが、夏など日が長くシャワー浴の場合は、ご本人に合わせ、又、時間を考慮し楽しんでもらうこともできる。 ・一人ひとりのタイミングに合わせて入浴している。 		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の活動により昼夜のメリハリをつけた生活習慣を支援し、なるべく薬剤に頼らない睡眠を心がけている。 ・本人の希望を聞き、ゆっくり眠りたいという方には、お部屋でゆっくりと過ごしてもらい見守る。 ・生活パターンに合わせ、それぞれのペースに合わせて休息・就寝してもらっている。 ・自己決定を最大限にし、その人に合った安眠や休息をとってもらっている。 ・自己判断にて休んで頂いている。 ・ご本人の意見・状況を重視し、支援している。 ・エアコンや電気毛布を使い、気持ちよく眠れるよう環境作りをしている。 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる</p>		
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>・鍵をかけなくても対応できる様、職員人数を増 やす。不穩にならぬよう集中して取り組めること をみつけてあげたい(あみものなど)。 ・興奮状態にある利用者の精神的安定を内服及び 関わりで軽減できるよう取り組んでいる。 ・外の柵を高くし、なるべく家の中と外を自由に 行き来できるようにしたい。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している</p>		<p>・職員一同の能力を上げ、安全に配慮できるよう 努める。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランや日々の記録から本人の状況を把握し、又、ヒヤリハットや自己報告書を元に、外部評価からの情報を参考に利用者個人に合わせた安全な環境整備に努めている。 ・針や包丁の使用、ハサミなど1人ひとりの能力に応じ、できる限り職員も一緒に見守りし、チェック表(使用チェック表)の活用もして危険防止に努めている。 ・気づいた職員が、他の職員に声かけし、気をつけている。 ・事故や災害に至らないよう保管し、必要時いつでも取り出せるようにしている。 ・必要最小限におさえているので、しっかり管理、観察すれば大丈夫。 ・注意の必要な物の置き場所を変えたりしている。 	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランや日々の記録から本人の状況を把握し、又、ヒヤリハットや自己報告書を元に、外部評価からの情報を参考に利用者個人に合わせた安全な環境整備に努めている。 ・職員が声をかけあいながらお年寄りの状況を把握し、事故防止に取り組んでいる。 ・起こりうる事故等に関しては、職員間で話し合い、防止に努めている。 ・できる限り取り組んでいるが、夜間等職員が1人の時はやはりできないこともある。 ・職員間で話し合いや連携を取り、事故防止に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬を飲んでもらう時、1人の職員が責任をもって飲ませよう努めている。 ・事故が万が一発生してしまった時の対応について、もう少し知識を向上させる必要があるため、知識の向上と職員一同の意識を変えていくよう取り組んでいる。
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修や外部研修に参加し学習し、また、施設設備の設置場所や使用方法の確認を行っている。 ・事業所の年間計画に組み込まれており、自主的に参加できるようになっている。 ・マニュアルがある。 ・起こりうる事故に関しては、職員間で話し合い、防止に努めている。 ・研修等を通し、勉強しているができるかどうかは不安である。 ・研修を行っている。 	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の服薬をわかり易く収納・記名し、それぞれの服薬内容を一覧にしている。また、処方箋の収納場所を全職員が把握している。 ・かかりつけ医より処方箋個人一覧表ファイルがあり、また看護師作成の個人別マニュアル表もある。個人記録や業務日誌等にも症状の変化による薬の支援法等、誰でも確認できるようになっている。 ・利用者と声を掛け合い、職員同士確認して行っている。 ・薬が変更したときなど、申し送りがあり、確認できるようにしている。 ・利用者の内服内容を一覧表にし、わかりやすくしている。 ・服薬の管理も一人ひとりが心がけ行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・理解できていないこともあるので、随時勉強会を開いていきたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士ケアプランの共有を行い、利用者の食事の工夫、散歩・レクへの参加等を促している。 ・水分補給の回数を個々によって増やし、毎日のレクリエーション時の体操、散歩等を勧めている。 ・牛乳を飲んでもらったり、運動・散歩へ出かけたり、腹部をマッサージしている。 ・便秘予防も兼ね、毎日の体操、水分量チェック、散歩等行っている。食事も野菜中心で食物繊維を取り入れている。 ・毎日の散歩や食事、飲み物にも1人1人が配慮している。 ・牛乳を飲んでもらったり、腹圧マッサージをしている。 		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの共有、個人記録への記載、職員間の情報交換・申し送りにより利用者個人の力に応じた支援を行っている。 ・全面的に介助が必要な人のみ1対1の介助ができているが、どうしても介助を嫌う方や半分自立型の方に関しての支援ができていない。 ・自立している方には声かけ、支援しないといけない人には支援しながら対応している。 ・毎食後、口腔ケアを実施し、介助が必要な方は、一緒に実施している。 ・1人1人が個人の歯ブラシを持ち、介助の必要な人はスタッフと一緒に行く等して、毎食後行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・義歯の方が大半で、なかなかご本人だけでは清潔が保たれないため、職員間の連携ならびに、より効果的清潔保持のため改善に向けて取り組んでいる。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの共有、個人記録への記載、職員の情報交換・申し送りにより、利用者個人の力に応じた支援を行っている。 ・食事以外の時間の水分補給は個々に合わせ、できるだけ多く摂れるうび内容も工夫している。 ・介護記録への記入をする。 ・食事量、水分量を個人記録に記入、栄養バランスが誰が見てもわかるように献立表に食材を記入。 ・栄養士によるメニューチェック、水分量も毎日チェックしている。 ・介護記録にしっかりと書き、状況を把握できるようにしている。 ・苦手な食べ物は他のおかずに変えるなどしてバランスを確保している。 		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修への参加やマニュアル作成により、職員が把握、実行できるようになっている。 ・インフルエンザの予防接種は毎年行い、手洗い・うがい等も行ってもらっている。 ・マニュアルを作成し、発生時に対応できるようにしている。 ・予防や対応の取り決めを書き出し、誰もがわかる様にしている。 ・予防接種を行う。手洗いうがいをやっている。 ・感染症マニュアルが常にみられるようになっており、また、流行の兆しがある場合は本部よりの資料をもとにミーティングがなされている。 ・研修で学習し、実行している。 		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人栄養士の協力も得て行事・管理を行ったり、法人内の研修の参加をして学習している。 ・食中毒には職員1人1人が気を配り、常に新鮮なものを食べてもらっている。 ・調理用具等は、使用后殺菌用洗剤等で消毒している。 又、直接食材を店へ注文し、新鮮なものを定期的に配達してもらっている。 ・ハイター洗浄したり、常に新鮮な食材を使う様心がけている。 ・職員1人ひとりが常に気をつけて食材管理、料理を行っている。 ・専用の冷蔵庫を購入し、生物には日付がわかるようにしてある。 ・夜勤帯にてまな板、布巾、台拭き等の消毒にも努めている。 ・常に食材購入(仕入れ)先と連携をとっている。 ・キッチンハイターで消毒するなど衛生管理に気をつけている。 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の草花や物、行事の写真等を掲示している。 ・ 安心だけでなく安全な玄関に工夫をしている。 ・ スロープ・手すりの設置、又、玄関周りは季節の草花を育て、明るいイメージにしている。 ・ 今まではオープンに門も開いていたが、現在“帰宅願望”の強い方が入所されており一部門にも鍵がかかっている。玄関にも開くとブザーが鳴るようなスイッチが入れている場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離説の問題があり、門も閉めている状況のため、近隣の人等が出入りしやすいよう考えていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の草花や物、行事の写真等を掲示している。 ・ 台所とリビングが同一空間になっており、調理の音や話し声が聞こえる。又、利用者と共に調理出来ている。 ・ 季節に合わせた飾り物や暖房器具をそろえ、共用空間をよりよくなる工夫をしている。 ・ 場所毎の表記及び案内の表記と、トイレ・浴室等は、設置で補えなかった部分はカフェカーテン等でプライバシーの確保がされている。 ・ 毎日掃除を行い、気持ちよく過ごせる様にしている。季節の花を飾ったり、季節に応じた飾り物を作り工夫している。 ・ 居間で過ごされる時間が多いため、テレビの音量などにも気を配っている。また、利用者の生活写真などを廊下等の目に入る場に掲示したり、季節の作品を展示したりし、雰囲気作りが心にかけている。 ・ 食堂のテーブルに花を飾るなどして季節感を取り入れている。 	
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者間の交換を大切に、リビングにソファを設置したりと工夫している。 ・ 個室があるので自己決定を大切にしている。 ・ 個々の様子や3人がけソファ等の設置があり、思い思いの場所や姿勢で過ごせるようになっている。 ・ 各自部屋があり、独りになれたりリビングに集まり、みんなで過ごせる場所がある。 ・ 狭い共用空間ではあるが、台所の部分とソファ部分を利用者の方が好きなように使ってもらえるように心にかけている。 ・ 共用空間に広さががないため、一人になれる空間がない。 	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人や家族からの情報や生活暦を参考に、可能な限り工夫をしている。 ・ 本人の自己決定を大切に、使い慣れた物等は自由にしている。 ・ 入居時に親しみのあった物を持ち込んでもらうよう説明し、使用してもらっている。又、新品の日用品や家具でなく、中古で親しみのある物をホームでも使用している。 ・ ご家族の訪問がある場合、又、家族通信等を通し、ご家族への呼びかけ、相談に努めている。 		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の掃除時、又、1日何回か換気に努めている。 ・ 換気は1時間に1回行ったり、居室では利用者がいない間は窓を開けておくなどの方法をとっている。 ・ 常に換気には留意し、都度行っている。又、必要以上に室温を上げ下げせず、利用者とも相談しながら調節している。 ・ その時々に応じ換気をし、利用者の状況に応じ温度調節をこまめに行っている。 ・ 朝食前後の居室換気に利用者と共に努めている。 		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古民家改修による施設であり、家族と同様の住まい作りをしている。 ・ 一部の段差等に関しては工夫し、他はバリアフリー作りになっている。 ・ 出来る限りのバリアフリーを心掛けた環境になっている。 ・ 手すりや滑り止めマット等、誰にでも起こりうる事故等に対する配慮がされており、必要以上に整備されていないことで自立upにつながっていると思われる。 ・ 手すりをつけている。 ・ 日中は玄関の出入りもあり、段差をつけているが、夜は取り外し可能な床板を使用し段差をなくしている。 ・ 危険箇所はバリアフリーにするなどしている。 		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や個人記録、個人情報、ケアプランを元に、必要時には家族の協力を得ながら、可能な限り本人の希望・力量に合わせた対応・支援を行っている。 ・トイレや洗面所等の張り紙をし、自ら見つけ出したり行動したりするよう支援している。 ・個々の能力を見極め、できることに注目しレベル低下の予防、及びレベルupを目指している。 ・洗濯物をたたんでもらったり、お茶をついでもらったり、個人の持っている力を活かしてもらえる様に声かけしている。 ・居室入り口に写真入表札がかかっている。 ・本人に無理のない、出来る範囲での生活を送ってもらっている。 		
87	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮しつつ、地域の方や馴染みの方からの花の差し入れ等を利用して、利用者が楽しめる環境作りに配慮している。 ・天気のいい日には外でのレクリエーションを行ったりと、敷地内の空間を利用している。 ・庭や畑を利用し、季節に合わせた作業やレクリエーションを行っている。 ・畑仕事をしたり、広い庭でレクリエーションを行ったり、行事を行ったりしている。 ・中庭部分をレクリエーション時、作業時に利用している。 ・庭でレクをしたり、畑で野菜の収穫などしている。 		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・地域に根ざした施設運営を心がけ、隣接する町内の方々や前山区と一緒に取り組む行事（夏祭り、歩こまいか大会、防災訓練、市民体育祭等）に、利用者と共に参加し、積極的に存在感をアピールしている。又、家族・ボランティアの協力を得て、らく楽内で運動会、非難訓練、炊き出し、運営推進会議、敬老会やみかん狩り等の行事を行うことで、信頼関係作りも重視し、住み慣れた町で当たり前の生活を楽しんで頂けるよう支援している。
- ・年金やその人のレベルに応じて、職員が一方的にケアすることなく自立を促し、その人らしさや生活レベルが低下しないよう努めている。
- ・その人の健康状態、病状の変化に応じて関係医療機関との連携を密にしている。
- ・地域住民との関わりを大切にし、行事毎に参加を促し、ホームの状況・利用者の様子を把握して頂き、必要時協力が得られるよう努めている。
- ・職員全員のケアの統一を心掛け、日々の記録・申し送りを充実させている。